

聖籠町 架け橋期カリキュラム（案）

	施設	幼稚園・認定こども園												小学校											
	対象	5歳児												1年生											
	時期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		【知識及び技能の基礎】【思考力、判断力、表現力の基礎】【学びに向かう力、人間性等】																							
	育みたい資質・能力 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	1. 健康な心と体 2. 自立心 3. 協同性 4. 道徳性・規範意識の芽生え 5. 社会生活との関わり 6. 思考力の芽生え 7. 自然との関わり・生命尊重 8. 数量や図形、標識や文字などへの関心 9. 言葉による伝え合い 10. 豊かな感性と表現																							
①期待する子ども像	○架け橋期を通して育てたい子ども像の明確化	友達と同じ目的をもち、一人一人が力を発揮し自信をもって主体的に行動する。																							
②町の三本柱	生活する力	基本的な生活習慣を身につけ、見通しをもって生活する。												小学校生活に慣れ、きまりを守って自信をもって生活する。											
	かかわる力	自分の思いや考えを伝え、友達と協力し合って遊びを楽しむ。												自分の気持ちを周りに伝えながら、友達と協力し合って活動する。											
	学ぶ力	興味をもったことに取り組み、試したり考えたりしながら、やり遂げる達成感を味わう。												学習の仕方を理解し、自分から考えたり調べたりしながら学ぶ。											
③園での活動・小学校での単元構成等	○期待する子ども像からくる3本柱の育成に向けた、各施設における活動や単元構成の在り方	作成の視点：3本柱を土台とし、生活を見通した遊びや活動、園生活の具体を示す。 例：自分のこととして、見通しをもって取り組む活動。（生活する力） （・ハンカチの準備・ひな人形作り・発表会） ：友達と協力しながら進める活動（かかわる力） （・当番活動・係りの仕事・発表会・修了式・運動会） ：試行錯誤しながら何度も試す活動。（学ぶ力）（・砂遊び・お店屋さん・色水） ：諦めず、最後まで頑張る活動（プール活動・運動会・コマ回し・フープ・雲梯） ：最後まで話を聞く活動（例・絵本・制作・友達と相談する活動）												作成の視点：3本柱を土台とし、幼児期の体験や園生活での遊びや生活、「幼幼児期の終わりまでに育ってしい姿」を踏まえた指導の具体を示す。 例：園で楽しんできた活動を学校でも楽しむ（歌・リズム） ：学校を知り、きまりを守って生活する。（生活する力）（例・学校探検・ ：友達と協力し合って活動する（かかわる力）（・運動会・当番活動・発表会） ：試したり考えたりしながら自己を発揮し、主体的に学ぶ（例・タブレット調べ） ：しっかり話を聞いて取り組む											
④指導上の配慮事項	○「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」や既存の指導計画等からみた保育者、教師のかかわり方	作成の視点：「③園での活動」における5歳児と保育者のかかわり方や環境構成の具体を示す。 例：温かいまなざしと言葉がけ、意図的な見守りと必要な支援。 ：好きな遊びを見つけ、夢中になれる時間や場の確保と興味、関心がもてる話しかけ。 ：一人一人を認める言葉がけ。 ：時期に応じた、友達同士のかかわりがうまれる場づくり。 ：自分たちで考え進めていく活動を通して、自己発揮し気持ちを切り換えるような活動。 ：幼児の主体的な遊びを大切にしつつ、どのような成長を願うかという保育者の意図を含めた環境構成をする。 ：子どもの自分でしたいという思いを引き出すために、幼児と一緒に考え、振り返る場を設ける。												作成の視点：③「単元構成」における1年生と教職員の関わり方の具体を示す。 例：幼児教育との接続を意識した授業を工夫する。 ：園で行った活動を取り入れ、子ども達が無理なくなじむことができるようにする。 ：一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を築けるような出会いを楽しむ活動を多く取り入れる。 ：学校の生活やルールに慣れるための活動の工夫をする。 ：子どもの気づきを促し、学びを自覚できるように支援し意欲をもたせる。											
	○教育的価値を有する環境の構成、環境づくり													作成の視点：安心して活動できる環境や主体的に学びに向かう環境の具体を示す。 例：一人一人が安心感をもち、生活や学習ができる環境づくり。 ：子どもの言葉から活動を立ち上げたり、教師の仕掛けで子どもの興味関心を引き出した りしながら、柔軟な発想で授業を構成する。 ：主体的で対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をする。											
⑤子どもの交流	○子どもの交流場面	作成の視点：1年生との交流場面のねらいと具体を示す。 2月 ・5歳児の体験入学 例：入学への期待を持ち、1年生と仲良く活動する。												作成の視点：1年生との交流場面のねらいと具体を示す。 例：年長児を温かく迎え、リードしながら楽しく活動する。											
⑥関係者の交流	○園小教諭の交流場面	・園小合同保育研究協議会（1学期） （幼児期に育ってほしい10の姿を明確にする） 1月・小学校教諭による5歳児保育参観 （5歳児の学びや育ちの確認） （小学校へ接続の出来る支援の確認） 2月・園小合同情報交換会 3月・架け橋メッセージと要録に よる伝達（園から引き続き伸 ばしてほしいことの伝達）												4月・園教諭による新1年生授業参観 （幼児期に育ってほしい10の姿から 引き継ぐ姿の確認）											
⑦家庭・地域との連携	○家庭・地域との連携場面	作成の視点：保護者との連携場面の具体を示す。 例：生活リズムを整え、基本的な生活習慣が身につくように連携して取り組む。 ：保護者の安心感が持てるよう支援。（家庭の子どもへの育ちチェック表の活用） ：個人懇談（月・月） ：保育参観（月・月・月）：就学前健康診断												作成の視点：保護者との連携場面の具体を示す。 例：保護者が学校生活に安心感が持てるよう支援する。 ：個人懇談（月・月） ：授業参観（月・月・月）：就学前健康診断											
⑧振り返り																									